

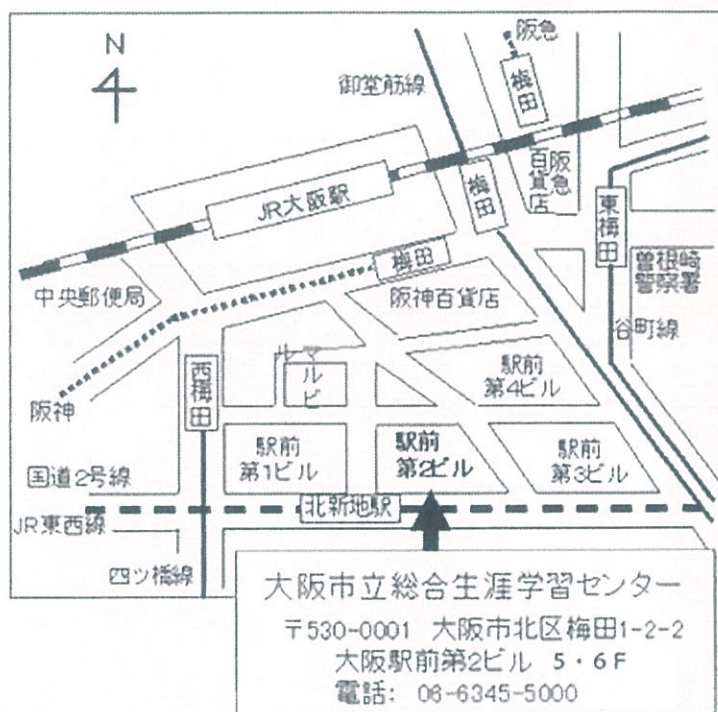
# 2018年9月の関西鍼灸中医研究会のお知らせ

## 肩こりと痙攣(げんへき)の分析 講義と実技指導



講師 早川敏弘会員

QRコードか URL の申し込み



フォームから

事前申し込みをお願いします。

[https://ssl.form-mailer.jp/fms/b](https://ssl.form-mailer.jp/fms/b9f7591b536599)

9f7591b536599 100名定員

《日時》9月1日土曜 18時～21時

《場所》大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル5F) 第一研修室

西洋人や中国人は肩がこらない、日本人だけが肩がこるといわれます。江戸時代に肩こりは「けんぺき」と言われ、これがナマって関西弁の「けんびき」となりました。もともとは中国伝統医学古典の「痙攣」「懸癖」です。また、肩こりの日本漢方として「独活葛根湯」や瘀血の「桂枝茯苓丸」や「延年半夏湯」などが使われていますが、経験処方であり、理論的に分析されていません。前半は、東洋医学の古典の視点から肩こりを分析します。後半は西洋医学の視点も入れながら、肩こりの臨床を解説します。

参加費 はいずれも 一般会員2500円 学生会員1500円

一般参加3000円 学生参加2500円

詳しくは関西中医鍼研究会のHPをご覧ください! 関西中医研で検索!

関西中医鍼研究会 連絡先 吹田市泉町 2-47-27-102 結(ゆい)鍼灸院

TEL&FAX 06-6380-2236 電子メールは [mogusa@cb3.so-net.ne.jp](mailto:mogusa@cb3.so-net.ne.jp)



~2018.9.1